

沖縄県公文書館

利用の手引き

Okinawa Prefectural Archives
User's Guide



深く掘れ
己の胸中の泉
餘所たよて
水や汲まぬごとに
伊波普猷

表紙解説

これはニーチェの箴言「汝の立つ所を深く掘れ 其には泉あり」を伊波普猷が沖縄語に翻案した琉歌である。

- この琉歌レリーフは沖縄県公文書館閲覧棟入口上に設置されています -

目次

I 公文書館へのご案内

- 1 公文書館とは..... 2
- 2 公文書・公文書館の役割..... 2
- 3 沖縄県公文書館の紹介..... 3

II 収蔵資料の紹介

- 1 沖縄県資料
 - (1) 戦前の沖縄県文書..... 4
 - (2) 琉球政府文書..... 5
 - (3) 日本復帰後の沖縄県文書..... 6
 - (4) 刊行物..... 6
- 2 その他資料
 - (1) 琉球列島米国民政府 (USCAR) 文書..... 7
 - (2) 琉球列島米国民政府以外の米国政府機関が作成した沖縄関係英文資料..... 8
 - (3) 档案史料・古文書..... 9
 - (4) 個人・団体文書..... 10
 - 映像音声資料..... 10

III 利用の案内

- 1 資料を探す
 - (1) 資料の検索..... 11
 - (2) レファレンス..... 13
- 2 検索結果の見方から閲覧申請まで
 - (1) 検索結果の見方..... 14
 - (2) 閲覧申請の方法..... 15
- 3 資料の閲覧・複写
 - (1) 文書..... 16
 - (2) マイクロフィルム等..... 16
 - (3) 映像音声資料..... 17
 - (4) 空中写真等..... 17
 - (5) 参考資料室の資料..... 18
- 4 その他の利用について..... 18
- 5 普及業務..... 19
- 6 ホームページの利用 (ねっと OPA)..... 21
- 7 施設見学..... 24
- 8 総合学習・ゼミ等の受け入れ..... 24

I 公文書館へのご案内

- 1 公文書館とは
- 2 公文書・公文書館の役割
- 3 沖縄県公文書館の紹介

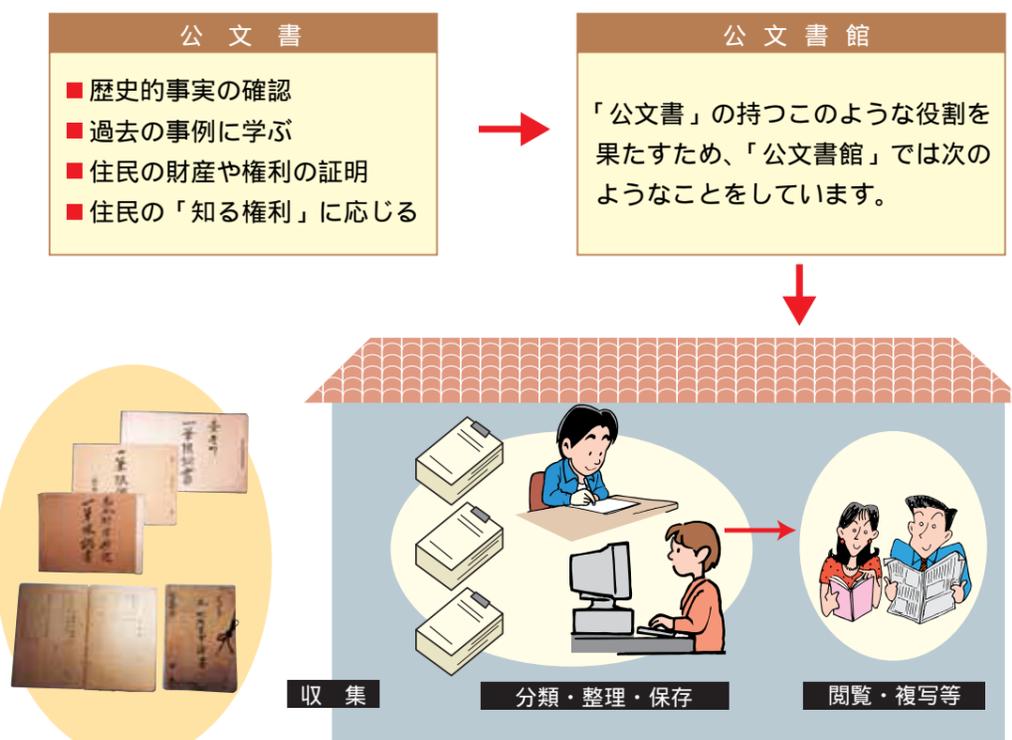
1 公文書館とは

組織等の記録・史料、またはその記録・史料を保存・管理する機関を「公文書（館）」^{アーカイブズ}（Archives）といいます。記録管理を重視する欧米では自治体だけでなく、企業や病院、大学等もアーカイブズを持っている場合が多くあります。

公文書館の歴史は古く、今から4,000年以上も前のメソポタミアでは公的記録の保管所を持っていました。近代公文書館の始まりは18世紀後半のフランス革命に始まり「公文書は国民の共有財産である」という認識が広がるようになりました。

その後、欧米やアジア諸国等で次々に公文書館が設立されていきます。一方、日本における公文書館の誕生は戦後になってからであり、公文書館に関する基本法「公文書法」の制定も昭和62年になってからで、その歴史はまだ始まったばかりといえます。

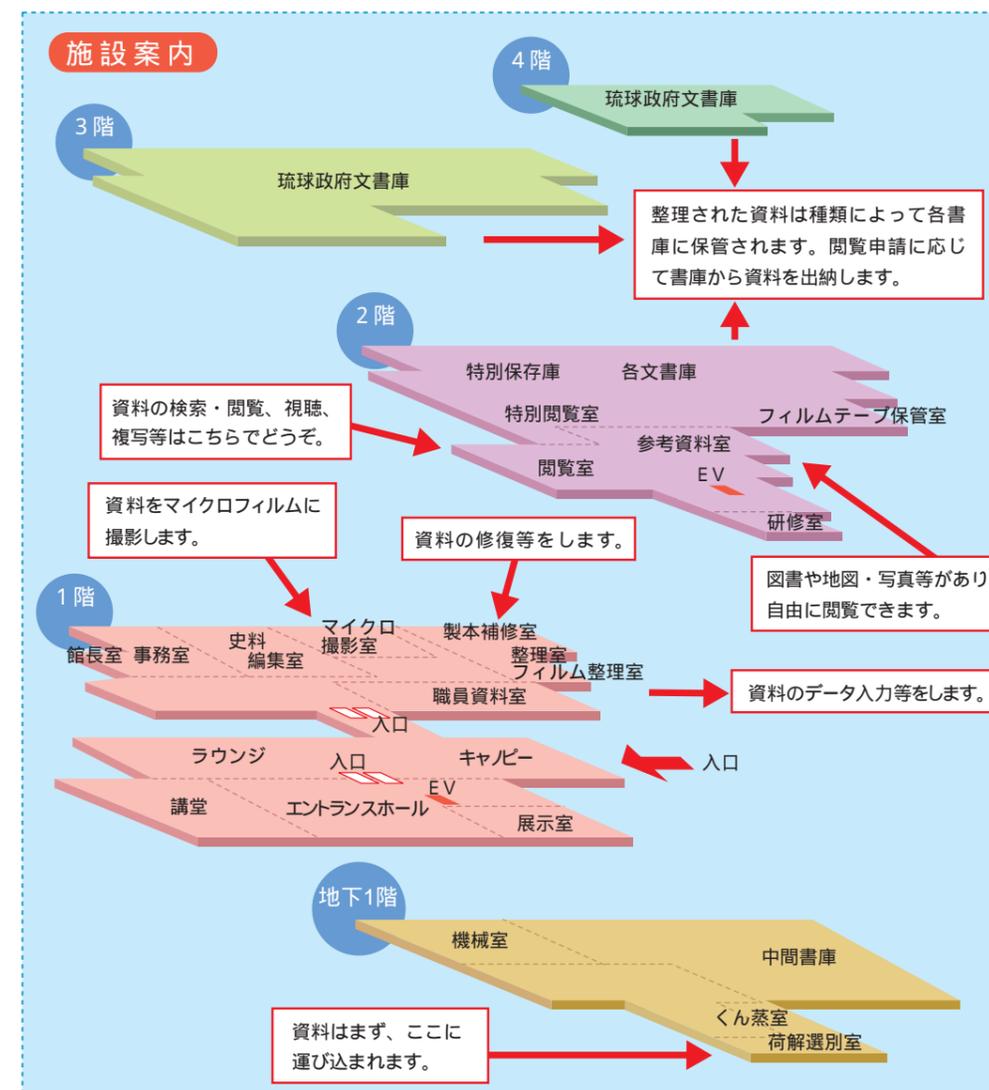
2 公文書・公文書館の役割



3 沖縄県公文書館の紹介

沖縄県公文書館は、平成7年に全国で26番目の都道府県立公文書館として開館しました。沖縄は、かつて独立した国として中国や東南アジアの国々と交易を行っていた琉球王国時代や、第2次大戦後のアメリカ統治時代等、他県には例のない特異な歴史を経てきました。このような沖縄の歴史を文字や映像・音声で記録された資料を収集、整理、保存し、人々に利用してもらうために設置された施設が沖縄県公文書館です。

沖縄県公文書館が収蔵している資料の概要については、本書の「II 収蔵資料の紹介」を、その利用方法については「III 利用の案内」をご覧ください。



II 収蔵資料の紹介

1 沖縄県資料

沖縄県資料とは戦前の沖縄県、戦後の琉球政府、日本復帰後の沖縄県の文書や刊行物等を指しています。

(1) 戦前の沖縄県文書 (1879年～1945年)

明治12年(1879)の廃藩置県により発足した戦前の沖縄県文書をいいます。



事務引継書類 知事官房秘書係
1883年(明治16)5月11日 第2代県令上杉茂憲
より第3代県令岩村通俊へ

沖縄県日誌 上杉茂憲
1881年(明治14)5月～1883年(明治16)6月



知事事務引継書
1935年(昭和10)7月
第22代県知事井野次郎より
第23代県知事蔵重久へ

(2) 琉球政府文書

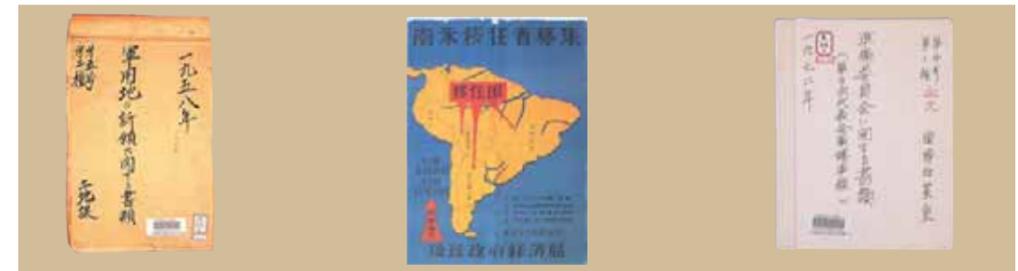
琉球政府文書は、琉球政府(1952.4～1972.5)の他に、沖縄諮詢会(1945.8～1946.4)、沖縄民政府(1946.4～1950.11)、沖縄群島政府(1950.11～1952.3)、琉球臨時中央政府(1951.4～1952.3)等の文書も含まれています。



沖縄諮詢会会議録2
1945年(昭和20)8月～12月

土地所有申請書
1946年(昭和21)～
1951年(昭和26)

対米国民政府往復文書 1954年(昭和29)
会計年度予算



軍用地の訴願に関する書類
1958年(昭和33)

南米移住国移住地地図の中の
「南米移住者募集」ポスター

復帰準備委員会に関する書類
代表会議議事録 第9回
1972年(昭和47)

琉球政府歴代行政主席



初代行政主席 比嘉秀平 (1952.4.1～1956.10.25) 第2代行政主席 當間重剛 (1956.11.11～1959.11.10) 第3代行政主席 大田政作 (1959.11.11～1964.10.30) 第4代行政主席 松岡政保 (1964.10.31～1968.11.30) 第5代行政主席 屋良朝苗 (1968.12.1～1972.5.14)
復帰後初代知事 (1972.5.15～1976.6.24)

(3) 日本復帰後の沖縄県文書

沖縄は1972年5月、日本に復帰し、再び沖縄県となり現在に至っています。沖縄県で作成・收受された文書は、それぞれ現用文書としての保存期間を経た後、第一次選別が行われ公文書館へ引き渡されます。

沖縄県の文書が公文書館で利用に供されるまで



沖縄県文書収蔵書庫



公文書館で受け入れた沖縄県文書は、中間書庫に配架し保存箱単位で引渡文書目録を作成します。その中から第二次選別した歴史的に重要な文書は、簿冊単位に所蔵資料目録として登録し、中性紙フォルダーに移し変え選別保存文書庫で保管します。

(4) 刊行物

公文書の他に、琉球政府や沖縄県が発行した行政刊行物も「沖縄県資料」の一部として収集、整理します。

沖縄県や琉球政府の発行した刊行物は沖縄の歩みを知る上で重要な資料です。

沖縄県行政資料収集管理規程によって沖縄県の発行した刊行物が公文書館へ納められる他、年代の古いものについては一般の寄贈等により収集しています。



琉球統計年鑑

2 その他資料

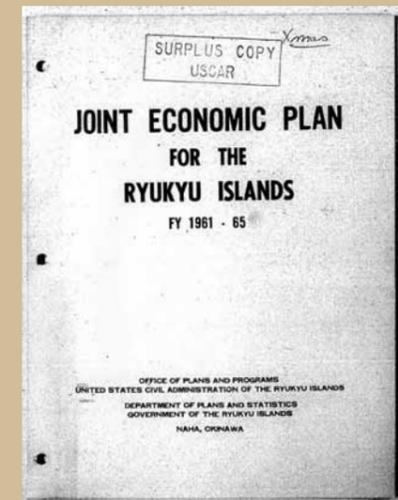
(1) 琉球列島米国民政府 (USCAR) 文書

(USCAR = United States Civil Administration of the Ryukyu Islands)

第二次世界大戦終了後、米国の沖縄統治機関であった琉球列島米国民政府が作成、收受した文書を指します。348万枚に及ぶこれら文書は、日本復帰後、米国メリーランド州にある米国国立公文書館で保存されています。沖縄県公文書館では沖縄の戦後史を知る上で重要なこれらの資料を国立国会図書館と共同で収集しマイクロフィルム等で公開しています。



大田主席を任命する高等弁務官 1963年



USCAR と琉球政府の「合同経済計画」
1961年度～1965年度

歴代高等弁務官



初代高等弁務官
ジェームズ・E・ムーア中将
(1957.7.4 着任)



第2代高等弁務官
ドナルド・P・ブース中将
(1958.5.1 着任)



第3代高等弁務官
ポール・W・キャラウェイ中将
(1961.2.16 着任)



第4代高等弁務官
アルバート・ワトソン中将
(1964.8.1 着任)



第5代高等弁務官
フェルディナンド・T・アンガー中将
(1966.11.2 着任)



第6代高等弁務官
ジェームズ・B・ランバート中将
(1969.1.28 ~ 1972.5.14)

Ⅲ 利用の案内

(4) 個人・団体文書

沖縄県や琉球政府、琉球列島米国民政府等の要職にあった人物や、沖縄の政治、経済、文化に深く関わった個人や団体が所有していた沖縄関係資料を、寄贈や寄託によって収集しています。



岸秋正文庫より「琉球人行列絵巻」(年代不詳)



1945年4月1日から46年4月1日まで
米国沖縄占領一年のあゆみをまとめた小冊子

沖繩返還協定等に関する
米国連邦議会刊行物

フライマスコレクション

映像音声資料

戦前の記録映像や琉球列島米国民政府が撮影した戦後の沖縄、また沖縄県の事業記録を収めた資料等があります。これらのビデオは2階の閲覧室にあるミニシアターやビデオコーナーで見ることができます。「映像音声資料目録」から選んで下さい。

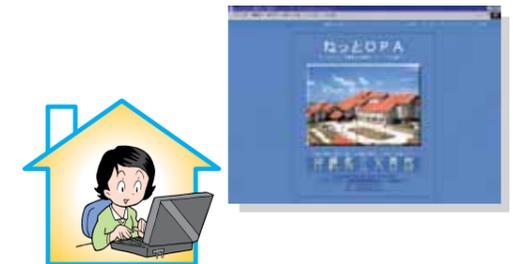
1 資料を探す

(1) 資料の検索

公文書館の資料を検索するには、閲覧室内の検索用コンピュータを使用します。また当館のホームページ(ねっとOPA)で検索することもできます。



(ホームページ上では[所蔵資料目録
ガイド付]から入ります)



参考資料室以外の資料は全て書庫に配架されていますので検索用コンピュータで検索して下さい。検索方法をいくつか紹介しましょう。

A 資料群(資料のグループ)に応じて選ぶ方法

検索画面は左右に分かれています。
左側[資料群]で検索します



① [田 沖縄県公文書館資料] の 田 をクリックします
ホームページでは の表示です)
[沖縄県資料] と [その他資料]
に分かれます

[沖縄県資料] 戦前の沖縄県、琉球政府、復帰後の沖縄県の文書及び刊行物をいいます。
[その他資料] 米国収集資料、档案史料、個人や団体の文書、沖縄関係書籍等をいいます。

- 1 資料を探す
- 2 検索結果の見方から閲覧申請まで
- 3 資料の閲覧・複写
- 4 その他の利用について
- 5 普及業務
- 6 ホームページの利用（ねっと OPA）
- 7 施設見学
- 8 総合学習・ゼミ等の受け入れ



② [沖縄県資料] をクリックすると、
[沖縄県文書] と [沖縄県刊行物] に
分かります

③ [沖縄県文書] はさらに
[戦前の沖縄県文書【～1945年】
[琉球政府文書【1945～1972年】
[沖縄県文書【1972～】
に枝分かります。

このように左の田または をクリックするたびに資料の出所や主題が細分化されますので
閲覧希望の資料の出所等があらかじめわかっている場合はこの方法で進んで下さい。

④ 閲覧したい資料の出所や主題が見つ
かったら、そこをクリックします。
(青色に変わる)

⑤ 画面右上の
[検索結果表示件数] で
表示件数を選択します。

⑥ 画面中央上の [資料検索実行] を
クリックして検索をスタートします。

例 琉球政府文書の中から、復帰前の移民関係資料を調べる場合
[沖縄県資料] ▶ [沖縄県文書] ▶ [琉球政府文書] ▶ [農林局] ▶ [移住課]

B 資料群を問わずに全ての資料から選ぶ方法

画面右側でキーワード検索します。

例 台風に関する資料を検索する場合

① [検索文字列] に探している資料
のタイトルや概要説明に使用され
ている、あるいは使用されてい
ると思われることをキーワード(こ
の場合は「台風」として入力します。
キーワードを増やすことによって資料
を絞り込むこともできます。

② [検索項目] より 目録情報 を選択します。

③ [資料種別] より文書、書籍等の項目を
選びます。
種類を問わない場合は選択しません

④ [資料日付] に必要に応じて資料の作成、
出版年月日を西暦半角で入力します。

⑤ [検索結果表示件数] より表示件数を選択します。

⑥ [資料検索実行] をクリックし、スタートです。

C 資料群とキーワードを組み合わせて選ぶ

A と B を組み合わせて検索します

D 資料コードで検索する方法

閲覧したことのある資料を再度検索する場合に便利です。画面の右側で検索します。

① [検索文字列]
資料コードを半角で入力します。

② [検索項目]
資料コードを選択します。

(2) レファレンス

皆さんの探している資料が公文書館にあるかどうか、私たちはそれを
調べる手助けをします。直接来館するか、電話や FAX で問い合
わせて下さい。

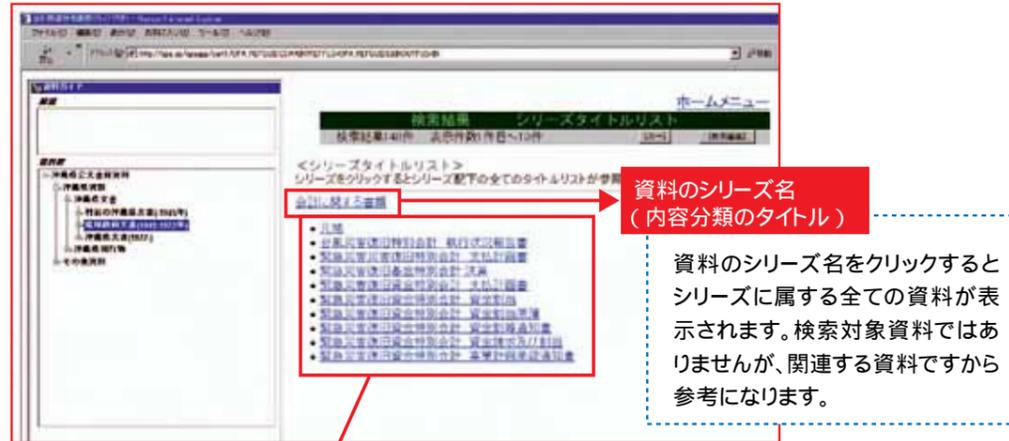


- 1 資料を探す
- 2 検索結果の見方から閲覧申請まで
- 3 資料の閲覧・複写
- 4 その他の利用について
- 5 普及業務
- 6 ホームページの利用(ねっとOPA)
- 7 施設見学
- 8 総合学習・ゼミ等の受け入れ

2 検索結果の見方から閲覧申請まで

(1) 検索結果の見方

検索結果はこのように表示されます。



実際の資料名

① 資料名の頭「**ク**」の表示
資料名をクリックすると検索対象資料の情報が一点ごとに表示されます。

② [資料コード]【青い英数字】をクリックします。



上の検索結果画面のようにひとつの資料名をクリックすると、2つ以上の資料が表示される場合があります。これは複数年にわたって同じような資料が作成される場合や数編が刊行される県史等に見られる表示方法です。

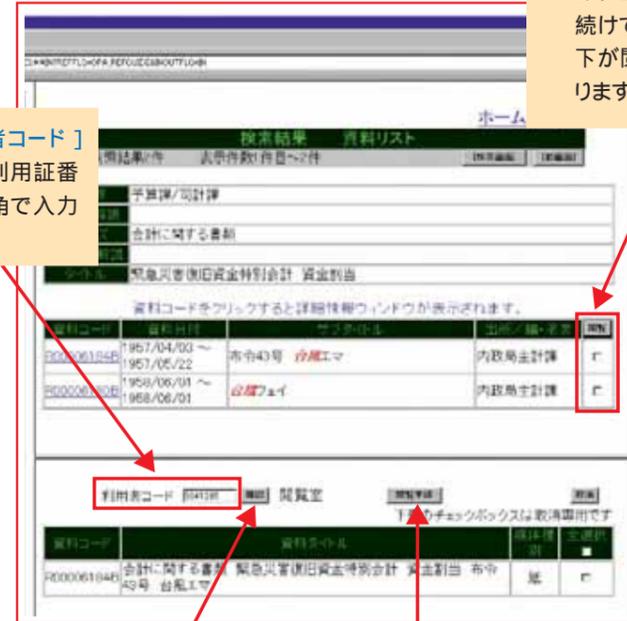
③ 資料の詳細情報が表示されます。



(2) 閲覧申請の方法

① 資料名、資料情報の表示画面右側のチェックボックスをクリックします。続けて[閲覧]をクリックすると画面下が閲覧申請用の画面に切り替わります。

② [利用者コード]の欄に利用証番号を半角で入力します。



③ [確認]をクリックすると申請者名が表示されます。

[閲覧申請]をクリックするとプリンターから[閲覧申請書]が出てきますのでこれを閲覧カウンターに出して下さい。

ホームページ上からは閲覧申請はできません。

これで閲覧申請は終了です。係員が書庫から資料を出納するまでしばらくお待ち下さい。



公文書館資料閲覧申請書



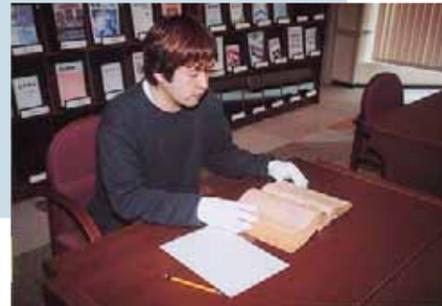
閲覧カウンター

3 資料の閲覧・複写

(1) 文書

公文書館の資料はそのほとんどが一点しかないものですので、丁寧に扱って下さい。資料によっては手袋の使用をお願いすることもあります。また、ペンのインク等で資料を汚損する恐れがありますので、閲覧室でメモをとる際は鉛筆を使用して下さい。

原資料の複写は職員で行います。備え付けのしおりをはさんでカウンターまでお持ち下さい。



(2) マイクロフィルム等

公文書館では原資料の利用による劣化を防いだり、原資料で収集できない場合、マイクロフィルム等で複製を作成し利用に供しています。マイクロリーダープリンター機で閲覧から複写までできます。



(3) 映像音声資料

昔の沖縄を映し出す無声の映像や県事業の紹介ビデオ等がご覧になれます。閲覧室に備えてある目録から選んで係員に申し込んで下さい。グループで見える場合はミニ・シアターを、お一人の場合はビデオコーナーをご利用下さい。



ミニシアター



ビデオコーナー

(4) 空中写真等

1940年代、米軍が空から撮影した沖縄の写真を専用のコンピュータで見ることができます。必要に応じて拡大、縮小、複写することもできます。画面を指で触れながら閲覧して下さい。

また、USCAR等が撮影した戦後沖縄の数多くの写真もあります。参考資料室のアルバムかホームページで閲覧して下さい。



5 普及業務

展示会

公文書館では所蔵資料の紹介と利用普及のために展示会を開催しています。館内の展示室で行う常設展、企画展、特別展の他に、遠隔地で行う移動展等があります。



常設展
公文書館の収蔵資料等の紹介をします。



企画展
テーマに沿って公文書館収蔵資料等を紹介します。



特別展
沖縄や公文書館にとって節目となるような時期等に開催します



移動展
主に遠隔地の方々に公文書館資料を紹介するために開催します

(5) 参考資料室の資料

参考資料室の資料は自由に閲覧できます。読み終わった資料は書架へは戻さずに返却台にお返し下さい。

参考資料室には沖縄に関する図書、沖縄県及び市町村の刊行物、USCAR や琉球政府関係写真、新聞、地図等が配架されています。

貸出は行っていませんが、複写することができます。



参考資料室

4 その他の利用について

出版物等への掲載

公文書館が所蔵している資料を出版物に掲載する場合等は、「出版物等掲載許可申請書」を提出して下さい。ただし、著作権法上、公文書館が許可できない資料もありますので、係員にご確認下さい。

館外貸出

原則として、公文書館資料の館外貸出は行っていません。ただし公的機関等が行う展示会や教育目的で使用する場合等には、特別に貸し出すことができますので、係員までご相談の上「館外貸出許可申請書」を提出して下さい。

6 ホームページの利用(ねっとOPA)



<http://www.archives.pref.okinawa.jp>

〔ねっとOPA〕は、平成10年7月1日よりサービスを開始した当館ホームページの名称です。〔ねっとOPA〕にアクセスすると、公文書館の施設案内や利用案内及び行事案内等、最新情報をご覧になれます。また、収蔵資料の検索や、デジタル資料の閲覧等、様々なコンテンツを配信しています。24時間アクセス可能な窓口として、来館前の事前調査等にご利用下さい。

講演会



沖縄の文化、歴史などに関する講演会、また資料保存をテーマにした講演会があります。

資料保存講習会



保存箱の作成や簡易製本の方法などを実際に体験できる講習会です。

講座



毎年、テーマを設けて講座を開催しています。

映写会



沖縄に関する映像資料の上映会を開催します。

展示、講演会や講座等への参加はいつでも無料です。ポスター、チラシ、新聞等で開催をお知らせします。

出版物

(1) 定期刊行物

- 『沖縄県公文書館だより アーカイブス ARCHIVES』
- 『沖縄県公文書館 年報』
- 『沖縄県公文書館 研究紀要』

(2) 展示図録

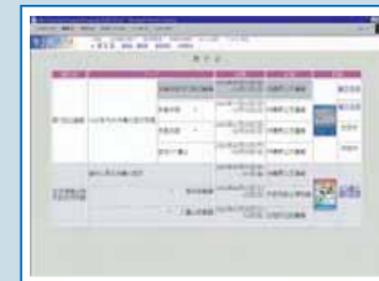
企画展や特別展の図録

(3) その他

『行事案内』『資料保存のしおり』他

ご案内

展示会



講演会・講座等



新着資料(新たに閲覧を開始した資料)



利用案内



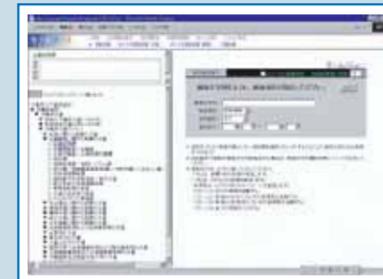
- 1 資料を探す
- 2 検索結果の見方から閲覧申請まで
- 3 資料の閲覧・複写
- 4 その他の利用について
- 5 普及業務
- 6 ホームページの利用(ねっとOPA)
- 7 施設見学
- 8 総合学習・ゼミ等の受け入れ

公文書館の紹介

概要 / 施設 / 業務 / 資料紹介等



資料目録検索



蔵書資料の目録検索



沖縄県より引き渡された文書の目録検索

電子閲覧室

琉球政府の時代



琉球政府時代の文書や沖縄戦後史年表及び戦後沖縄の統治機構変遷を紹介

アメリカが記録した戦後沖縄



同題の展示会で使用した米国収集写真を解説付で紹介

米軍・USCAR 撮影写真



米国より収集した沖縄戦等関係写真を検索・閲覧

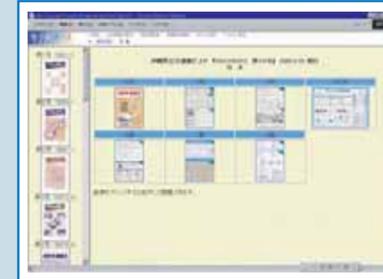
琉球政府公報



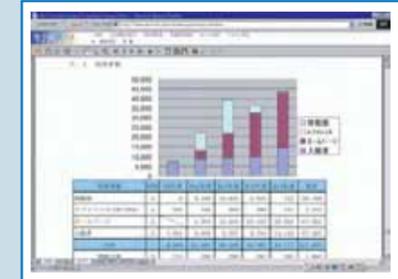
琉球政府公報を PDF ファイルで検索・閲覧

ねっと出版

沖縄県公文書館だより ARCHIVES



沖縄県公文書館年報



- | | |
|-------------------|---------------------|
| 1 資料を探す | 5 普及業務 |
| 2 検索結果の見方から閲覧申請まで | 6 ホームページの利用(ねっとOPA) |
| 3 資料の閲覧・複写 | 7 施設見学 |
| 4 その他の利用について | 8 総合学習・ゼミ等の受け入れ |

7 施設見学

公文書館見学

「公文書館の中はどうなっているの？ ちょっと中を見てみたい、どんな仕事をしているのか知りたい、施設を案内してほしい」という方々のために公文書館の職員が館内をご案内します。次のような方法でお申し込み下さい。

公文書館を見学するには.....

電話で見学の希望日時をご相談下さい。見学案内は火曜日から金曜日の間に行っています。日程が決まりましたら所定の申し込み用紙で申し込んで下さい。(ファックスでも受付可)



見学案内の様子

8 総合学習・ゼミ等の受け入れ

公文書館にある資料を利用して沖縄に関することを調べてみませんか？ 公文書館では、中学生、高校生、また大学生が総合学習やゼミ等において当館を有効利用できるよう、所蔵資料や利用方法についてご紹介します。

例えば...

・1940年代の沖縄の空中写真を用いて現在の町の様子と比べてどのように変化したかを調べてみる....

「総合学習」等で公文書館を利用してみたいという生徒の皆さん、先生方、公文書館にご相談下さい。

利用案内

- 入館は無料です。
- 書庫内にある資料を閲覧する際には『利用証』が必要です。『利用証』の発行にあたっては住所が確認できる身分証明書 免許証や学生証の提示をお願いします。
- 閲覧室での筆記用具は鉛筆をご使用下さい。(閲覧室内にも鉛筆とメモ用紙を準備しています。)
- 資料の館外貸出は原則として行っていません。閲覧及び複写で利用して下さい。
- 複写する際には実費が必要です。
- カバン等の所持品はロッカー(無料)にお預け下さい。



開館・休館の案内

開館日 火曜日～土曜日・日曜日(9:00～17:00) 閲覧申請は16:30まで
 休館日 毎週月曜日、国民の祝日である休日(月曜日にあたる場合はその翌日)
 6月23日(慰霊の日) 月曜日にあたる場合はその翌日)
 12月28日～1月4日
 特別整理期間[年間20日以内]
 ホームページ・公文書館だよりなどでお知らせします。

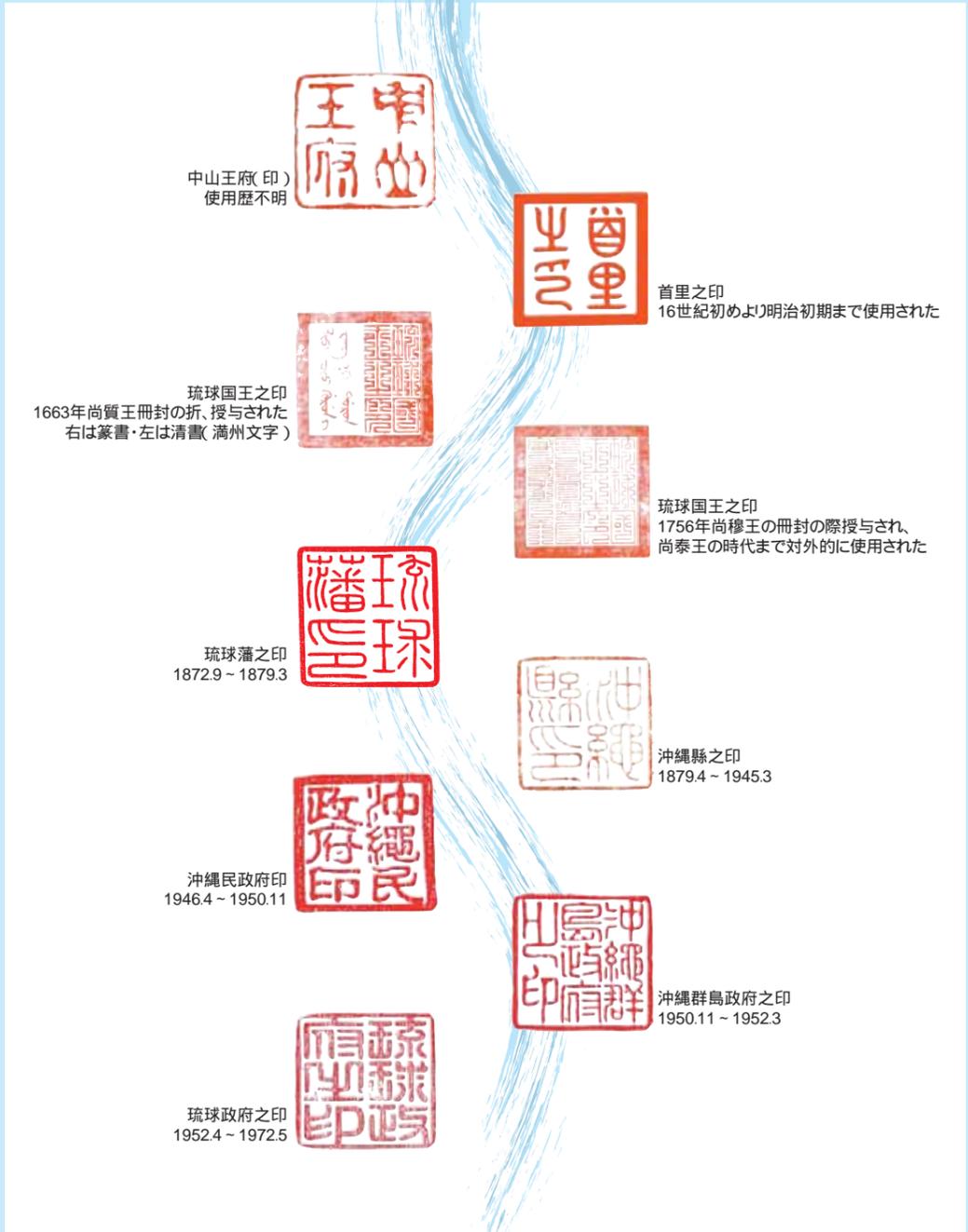


交通の案内

(株)那覇交通市内線1番
 (株)東洋バス91・96番 } 新川バス停下車 徒歩1分

〒901-1105 沖縄県島尻郡南風原町字新川148-3
 TEL (098) 888-3875 FAX(098) 888-3879
 URL <http://www.archives.pref.okinawa.jp>

発行 沖縄県公文書館
 編集 財団法人沖縄県文化振興会 公文書管理部



中山王府(印)
使用歴不明

首里之印
16世紀初めより明治初期まで使用された

琉球国王之印
1663年尚質王冊封の折、授与された
右は篆書・左は清書(満州文字)

琉球国王之印
1756年尚穆王の冊封の際授与され、
尚泰王の時代まで対外的に使用された

琉球藩之印
1872.9 ~ 1879.3

沖縄縣之印
1879.4 ~ 1945.3

沖縄民政府印
1946.4 ~ 1950.11

沖縄群島政府之印
1950.11 ~ 1952.3

琉球政府之印
1952.4 ~ 1972.5